

新刊のご案内

「マンハッタナーズ」で著名な画家と猫たちのほのぼののニューヨーク便り。
温もり溢れる10年ぶりの作品集！

猫たちと ニューヨーク散歩

久下貴史作品集2

新評論 刊

ISBN 978-4-7948-1100-4
B5並製 / 200頁 / 本体予価3,800円 / 7月下旬刊行予定

久下さんの愛猫たちがニューヨークを舞台に大活躍！
192点の作品で、NY観光名所をご案内します。

久下 貴史 (Takashi Kuge)

1948年京都生まれ。1982年に週刊朝日「山藤章二の似顔絵塾」第1回大賞受賞後、1986年にニューヨークへ移住し、猫たちとの暮らしを主たる画題とする絵画を制作。アートブランド「マンハッタナーズ」は世界中に多くのファンを持つ。人と猫、ニューヨークとニッポンがからみあった自由で個性豊かな世界を展開、作品の品格とのびやかさが多くの人々を魅了している。



ブロードウェイ遊覧飛行 Broadway Aero-touring
キャンパス / アクリル / メジウム / 73.0 × 61.0 cm / 2017

2017年の個展のテーマは「ぼちぼちニューヨーク」とした。3年間続いた海外取材編からニューヨーク主題に戻り、構図や色彩構成が新しいニューヨークを感じさせる個展となった。この作品は、ブロードウェイの中心スポットを色彩あふれる構成で間近に迫らせ、すぐ目の前をフェデリコとナナが飛ぶという楽しさいっぱい代表作だ。東京のナナは、久下のイメージのなかでヨーロッパにも行くし、ニューヨーク訪問なんぞお手のもの。ナナもすっかり自由な空間移動が身につけて、フェデリコと一緒にブロードウェイを遊覧飛行していても、違和感がない。羨ましいぐらい、楽しそうだ。

～本文より抜粋～

「市販の旅行ガイドよりもニューヨークのことがよく分かるみたい」

そんな声も聞こえてくる・・・

単なるキャプションを超えた充実の解説がこの画集の特徴です。

192の作品と共にNY観光へお出かけください。

画・久下 貴史 文・ジャパン・アーティスト株式会社

登場人物？をご紹介します



フェデリコ



ミケランジェロ



マーベリック・クマ



ナナ



シゲオ・ダ・ヴィンチ



ハリ・トティ



バロン・フェブライヨ

画集に出てくる作品を少しだけご紹介



オペラ祭り群集猫 Opera Festa Cat Crowd
©NY ARTISTS GUILD 2008



読書家のシゲオ Shigeo, A Bookworm
©NY ARTISTS GUILD 2012



エンパイアステートビル影の幻影
A Vision of the Empire State Building
©NY ARTISTS GUILD 2011



一体全体ここで何しているんだろ?! (ブルックリン橋)
What on earth are we doing here? (Brooklyn Bridge)
©NY ARTISTS GUILD 2017



マンハッタンの静かな秋の一日 A Quiet Autumn Day in Manhattan
©NY ARTISTS GUILD 2013

猫を描き続ける画家、
久下貴史さんって、こんな経歴の持ち主です。

1948年 京都生まれ



1982年 「週刊朝日」『山藤章二の似顔絵塾』第一回大賞受賞、以後長年にわたり特待生として企画に応じた寄稿が続いている
1983年 「朝日ジャーナル」連載小説『大世紀末サーカス』(安岡章太郎作)挿絵
1985年 「小説新潮」連載小説『ダウンタウン・ヒーローズ』(早坂暁作)挿絵
「週刊朝日」連載小説『神曲崩壊』(山田風太郎作)挿絵、題字
1986年 ニューヨークに移住し画業に励む。
1996年 ニューヨーク暮らし10年の節目にソーホー地区入り口ハウストン・ストリートのビル壁に巨大な1対の壁画を発表。
以後、2000年まで、壁画シリーズとして4年間4作品を仕上げた。
2001年 銀座伊東屋ギャラリーにて初めての個展「ニューヨーク15年、猫との暮らし」開催。ニューヨーク暮らしで描きためた作品と新作を合わせて100点余りを一挙に発表し、豊かな発想と多彩を極める表現世界が高く評価された。
2002年 春、銀座伊東屋ギャラリーにて第2回個展「ニューヨーク、この1年～猫と平和を語る日々～」開催。
猫たちに平和への思いを託した大作『凝縮猫マンハッタン図』は大きな感動を呼んだ。
2004年 夏、第4回個展「このごろのニューヨーク～やっぱり猫に励まされて～」開催。個展の中心になったのは、「猫のフルオーケストラ」。夢の中で楽器を奏で創作活動をサポートしてくれる猫たちを縦2メートル、横3メートルを超える大きな作品に仕上げ、毎回新しい趣向を楽しみに訪れる来場者たちを大変喜ばせた。
2006年 夏、第6回個展「久下貴史と物語の猫たち」開催。古今東西の物語の中の猫たちを主要テーマとしファンタジックな世界を展開した。またライブ・ペインティングを披露した。
2008年 夏、第8回個展「猫、歌いっぱなし」開催。前年に描き足りなかったオペラをテーマとする作品世界と百猫一首の残り48点を発表した。
2010年 夏、第10回個展「私と猫とニューヨーク～変わらない日々～」開催。節目の10回目に向けて、住み慣れたマンハッタンを歩き回り、新たな視点で制作した作品世界を披露した。
2011年 例年通り8月に開催された第11回個展のテーマは、「フェデリコの思い出」。ニューヨーク猫暮らしの開祖たるフェデリコを失うも、描き続けよとフェデリコが命じていると信じて、ひたすらに描いた絵を発表した。
2012年 夏、第12回個展「猫たちとニューヨーク散歩」開催。穏やかに過ごす猫たちとの暮らしと画業に邁進し精進する意欲を豊かに示す作品が並んだ。
2013年 夏、第13回個展「地球、猫さまさま」開催。ニューヨークに限らず、地球上のどこにでもいる猫たちの多様性を多彩な手法で描きあげた数々の作品を発表した。
2014年 8月に、第14回個展「猫を探して...」開催。旅する猫たち第一弾イタリー編として、イタリー取材旅行の成果である新作を発表した。
2015年 第15回個展は建替新装なった銀座・伊東屋で「猫を訪ねてスペインめぐり」と題して開催。スペイン取材旅行で刺激を得て制作された作品群を含む新作の数々が発表された。
2016年 第16回個展は、パリやアムステルダムの取材旅行の成果を「パリやアムステルダムへ、猫とアートの旅」と題して発表した。
2017年 8月に、第17回個展「ぼちぼちニューヨーク」開催。ニューヨークのイメージを多様な視点で描いた作品を数多く発表した。

久下さんの猫たちはグッズの世界でもおなじみ。
現在はそれぞれのコンセプトで3つのブランドを展開。



A.S. Manhattaner's
©NY ARTISTS GUILD 1998



Manhattaner's
©NY ARTISTS GUILD 1999



Manhattaner's
©NY ARTISTS GUILD 2005

グッズの詳細はオフィシャルウェブサイトをご覧くださいませ。 <http://www.manhattaners-onlineshop.jp/>

『猫たちとニューヨーク散歩 久下貴史作品集2』

全国の本屋さんで7月下旬より発売します。

お近くに書店がない際、またはご予約・ご注文の際は下記までお問合せください。

〒169-0051東京都新宿区西早稲田3-16-28

株式会社新評論

Tel:03-3202-7391 Fax:03-3202-5832

Mail:sales@shinhyoron.co.jp Web:www.shinhyoron.co.jp